

氏名：新川 美佐絵

実施国：ウズベキスタン

調査研究

活動名称 「ウズベキスタン・アラル海周辺住民の想いと記憶継承について」インタビュー調査

実施期間 2012 年 8 月 5 日 ～2012 年 8 月 17 日

(1) 申請した動機

ウズベキスタン共和国にあるムイナクは、ソ連時代に展開された無謀な灌漑農業によって海が消失した「20 世紀最大の環境破壊」が起こった現場である。多くの研究者や支援団体がムイナクに入り、援助のための調査活動を行っているが、医療・環境分野の調査結果は多くありながらも、住民の意識や想いについて言及された報告類は殆ど見られない。しかし、環境破壊や公害はもっとも立場の弱い人に被害が集中し、彼らとその被害を自力更生するためには、被害者の立場にたって問題の構造を把握、分析することが必要不可欠である。外部者の判断による行政などへの安易な経済支援ではなく、被害の末端にいる周辺化された住民自身が必要としているものは何かを知るため、ムイナクでのインタビュー調査を行うことにした。

(2) 活動内容概要

カラカルパクスタンの州都であるヌクスにて、アラル海保護活動に関する現状やこれまでの経緯を調査した。ヌクスにある国立資料館には、ソ連時代の芸術家が残したアラル海危機を訴えるポスターや絵画、陶芸品などがあり、それらを見学することで、旧ソ連時代の情報統制の強い中で環境破壊問題を誰がどう世間に訴えたのか、歴史的経緯を理解することができた。

また、現在ヌクスに派遣中の青年海外協力隊の保健師隊員にもインタビューを行い、同州の医療分野での特徴や現状を把握した。

ムイナクでは、10 名の住民へインタビュー調査を行った。(対象：ムイナク出身で現在州都ヌクスに住む通訳の男性、小学校の教員、カレッジ(日本の専門学校にあたる)教員、元漁師と家族、水産加工工場の元工員、かつて海があった頃を熟知している 81 歳の女性、ムイナク出身で現在州都ヌクスで大学講師を務める 29 歳の女性、ムイナク市役所職員、ムイナク郷土資料室の学芸員、保健省ムイナク支部長である看護師) 時間は 1 人 20 分程度～2 時間弱とばらばらであったが、世代によって問題認識が大きく異なることが分かった。同時に、多くの人が「多くの支援団体や研究者など、外国人がたくさんやってくるけど、何も変わらない」という諦観と、外部者への失望にも似た感情を抱いていることも見えてきた。

上記の現地調査結果をもとに、帰国後その内容と考察を修士論文にまとめた。



アラル海が干上がり船だけ残されている



アラル海消失を体験した女性

(3) 活動の成果・苦勞した点・反省点等

住民自身の語りによって、文献や先行研究などでは分からない環境破壊の被害者の感情が見えてきた。また、「20世紀最大の環境破壊」という標準的な歴史認識からは見えてこない、オルタナティブ・ヒストリー（世間に認知されている「支配的な歴史観」とは異なる、もう一つの歴史認識）も聞き取ることができた。調査の動機にもなっているが、これまでのアラル海問題研究で登場する住民らは「環境破壊による健康被害者」としての顔しかなく、個々人によるその問題への想いや心の吐露といったものがほとんど見られなかった。今回の研究は、あくまでも被害者の視点でこの問題を分析したものであり、彼らが環境破壊という構造的な暴力から自力更生するために必要なものはなにか、今後考え続けていくための布石になったのではないかと考える。

苦勞点としては、情報や言論の統制の厳しいウズベキスタンで、一大学院生が公的なサポートもない中で調査を行ったため、1週間程度の住民へのインタビューというレベルの調査であっても、ムイナクの警察にひそかに目をつけられていただろうことが挙げられる。決して、現政府の体制を批判するような内容の調査ではなかったが、調査最終日にムイナクを出ようとしたときに私と通訳の乗る車が止められ、カメラチェック（どんな写真を撮っているか）を受け、いろいろな質問（録音はしていないか、食事を食べた場所は誰の家でどんな関係なのか等）をされた。そして、調査を終えて町を出る際にも、ムイナク地区と隣の地区の境界まで警察に尾行されたりもした。（もちろん私たちが違法な調査活動を行ったわけではない）

しかし、公的に調査の許可を得て、公的な通訳と一緒にインタビューを行なったのでは住民らは決して自身の感情を出してくれなかったと思われ、優秀な通訳のおかげで大変有意義なインタビューができた。

(4) 今後のプラン

正式に決めているわけではないが、指導教授からも本問題を継続的に研究することを勧められており、大学院博士課程への進学も視野に入れている。また、この問題を広く一般に知ってもらえるよう、開発教育分野で扱えるような教材作成などを具体的に検討していきたい。